



陽気は幸せの種

No.100

2015.7.15

●ホームページからも「陽気だより」  
最新号・バックナンバーをご覧いただけます

<http://yotokusha.com/>

図書出版 養徳社 〒632-0016 天理市川原城町 388 TEL 0743 (62) 4503 / FAX 0743 (63) 8077

養徳社

検索

# 陽気だより

昭和33年12月号から

『陽気』は、昭和24年4月の創刊、今年で66年を迎えます。過去の記事から、その歩みの一端を振り返ってまいります。

## しつけの重要性

― 一れつ会創立三十周年記念日に思う ―



岡島 藤人

(昭和三十三年当時  
本部准員・養徳社社長)

### しつけの意義

子供のしつけという問題については、いずれの家庭の親たちにしても、考えない人はおそらくあるまいと思うが、それほど重大な問題であるにもかかわらず、案外なおざりにされやすいものである。子供のしつけいかんが、その子供の将来はもちろん、家庭にしても社会にしても大きく影響することはいうまでもない。

このしつけということを広く考えると、家庭におけるしつけと学校におけるしつけとがあるが、家庭においては両親が中心にならねばならぬこ

とはいうまでもない。

子供のしつけについて最も大切なことは、いたずらに子供にあせよこうせよと口で教えるだけでは、子供は親の言う通りにするものではない。それよりも親のすること為すことを子供は真似るものなので、親自身の行動を慎むことが何より大切である。「子供を知らうと思えば親を見よ」とさえいわれているくらいである。

家庭生活における親の行動というものは、親自身のためのみならず、子供の将来の上にも責任のあることを自覚すべきである。

子供がおいおい成長して学

校に通うようになれば、学校の先生と親との共同責任になることもまた明らかである。PTAなどということが重要視されるのも、ここに基因するのである。

義務教育の時代は先生と親との談合によって、ある程度のしつけは出来るとしても、子供の教育はそれで能事終わりというのではない。出来るならば、高等専門の教育も受けさせてやりたいのは親として当然のことではあるが、ここに至っては思ってもならぬのは経済問題である。子供に一人前の教育をさせたいと思っても、どうにもならぬところが決して少なくない。ここに着眼せられて創設せられたのが「一れつ会」である。

### 一れつ会の意義

一れつ会は今を去る三十年前に、現真柱がご自身の結婚を記念して、多額の基金を寄与せられて創設された本教の育英機関である。

この三十年間に輩出した人材は三千を越えるといわれる。筆者の知っている範囲でも、学者として大学の教壇に立つておられる人、芸術家として

自己の才能を生かしておられる人、実業家として経済界に活躍しておられる人、国際的代表的のスポーツ選手としてその道に雄飛している人々など、その範囲はきわめて広い。

わけても宗教家となつて、国内はもちろん遠く海外の伝道に従事しておられる人々は枚挙にいとまがない。

世に記念事業というものは少なくないが、その多くは後世の思い出のためとか、その場限りに終わるもの、中には自家広告以外の何ものでもないような事業も少なくないが、本教の一れつ会は、真柱の結婚を記念してはじめられた仕事ではあるが、年々歳々その

月刊『陽気』

定期購読受付中

お 店まで買いに行くのが大変。忙しくて購入するのを忘れた。定期購読はそんな手間を省きます。

毎月20日前後にご自宅宛に発送いたします。(例：8月号は7月20日)

定期購読料金  
1年分…3,420円 (送料込)

半年分…1,710円 (送料込)

購読に関する問合せ先  
☎0120-920-398 養徳社 業務部窓口



教会本部西側広場

恩恵に浴する人が増加の一途をたどり、国家社会にたいして貢献するところも極めて大きいといわねばならぬ。このように、年とともにその意義が深まり、その価値が高まるという仕事であつてこそ、生きた記念事業といふべきであらう。

### 一れつ会の特色

一れつ会創立の趣旨と目的については、去る十月十八日創立三十周年の記念日の真柱のご講話にもくわしく述べら

れているように、子供に後顧の憂いのないように親には専心布教していただきながら、心配なく子供に勉強させてやりたいという思召からである。当時、教内には、学問がいらないなどといわれていた時代であつたにもかかわらず、まだ青年であられた真柱が将来を深く留意せられて、実行にうつされたのである。すなわち、父兄に経済的負担を負わずに、子供の能力を最大限に伸ばしてあげたいというのが一れつ会創立の趣旨であつた。

その目的も、世間一般の育英事業とも異なり、単に頭の良い人だけを育てるのではなく、もつてうまれた子供の徳分を、十分活用できるところまでお世話をしてあげたいという親心からであつた。したがって、一切の制約のないのも一れつ会の大きな特色の一つであらう。専攻する学問も、修得する技術も各人の自由のままかせ、もちろん、返済の義務を負わされることもない。

### 一れつ会とノーベル賞

とくに筆者が感ずることは、一れつ会が世にいう英才教育

でないという一点である。例をノーベル賞にとつても、それとはぜんぜん違つた意味で大きな仕事ではないかと思う。ノーベル賞はとくにすぐれた英才に限られるが、一れつ会は、その人の徳分に応じた才能を生かすために、資金を提供されるのである。ノーベル賞とは、目的において内容において違つが、それに劣らぬ広い意義をもつものと思う。ノーベル賞を特別の奨学資金とするならば、一れつ会は万人に与えられる奨学事業とでもいわれるであらう。また、一れつ会という名称も、「いちれつはみな兄弟や他人というて更でない」という教祖のお言葉に基づくものと思われるが、正に、一れつ会こそは本教の誇りとするに足る事業の一つであることを信じて疑わぬ。子供のしつけと教育とは切り離すことの出来ぬ関係にあると思つたので、特に一言、一れつ会に言及したわけである。幼少の頃の子供のしつけというものが、その子供の生涯を支配する重大問題であることを重ねて認識していただきたいのである。

「おびや許し」をいただく方に。

マンガ **おびや許し** 改訂版

作画：金巻とよじ  
脚本：山岡美秀  
32頁フルカラー  
定価 200円＋税

好評発売中  
図書出版 養徳社

外から日本を見れば  
—天理青年世界一周—

フォトギャラリー WEBで公開中

■月刊『陽気』連載中の「外から日本を見れば」の執筆者西崎圭介氏のフォトギャラリーを開設しました。世界各地の様々な景色を随時アップしていきます。

<http://worldphoto.yotokusha.com/> 天理青年世界一周 検索

Facebook で最新情報をチェック!  
<https://www.facebook.com/yotokusha>

この「陽気だより」を支部例会などの折、広く養徳社からのお知らせとしてご利用くださいますよう、お願い申し上げます。  
<書籍・陽気のご購入方法について>前払いをお願いしております。お近くのゆうちょ銀行に備え付けの振込用紙をお使い頂き、[住所、氏名、電話番号、書名(陽気希望月号)、冊数]を明記の上(振替口座番号00990-3-17694番 加入者名(株)養徳社)へご送金ください。手数料はお客様負担となります。ご入金を確認後、速やかに商品を発送させていただきます。ご不明な点は養徳社までお問い合わせ下さい。フリーダイヤル0120-920-398 養徳社 業務部